

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日
東

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所
 コード番号 4720 URL <http://www.johnan.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 勝己
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,197	—	△203	—	△194	—	△208	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △198百万円(—%) 26年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△25.89	—
26年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,441	3,802	69.6
26年3月期	5,659	4,065	71.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,786百万円 26年3月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,063	—	174	—	197	—	148	—	18.44
通期	5,942	—	221	—	274	—	215	—	26.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期第3四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期1Q	8,937,840株	26年3月期	8,937,840株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	884,647株	26年3月期	884,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期1Q	8,053,193株	26年3月期1Q	8,053,351株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による一時的な落ち込みが見られましたが、政府の経済対策による公共事業を中心とした設備投資計画の増加とともに企業収益の改善が進み、穏やかな回復基調を伴いながら推移いたしました。

当業界におきましては、本格的な議論が始まった新大学入試制度に向けて、塾・予備校のあり方が問われる一方、加速していく多様なニーズの拡がりに対応するための事業戦略がより一層求められております。

このような状況のもとで当社グループは、コア事業と新規分野のバランスを図りながら総合教育企業として業容の最適化を推進してまいりました。

まず、昨今のグローバル化の要請から今後の成長が期待される英語教育部門におきましては、前連結会計年度に資本提携した株式会社ジー・イー・エヌによる英語教育システム「ジー・フォニックス・アカデミー」を導入した幼児英語教室を、東京都目黒区自由が丘の乳幼児育脳教育「くぼたのうけん」教室に併設し、開校から予想通りの反響を呼びました。「くぼたのうけん」も安定的な受講者数を確保し、新たな展開への歩みを早めております。乳幼児事業のもう一つの柱である保育園事業「城南ルミナ保育園立川」も開園以来、地域の厚い信頼を集め、毎年着実に園児数を増やすことによって待機児童解消に貢献しております。

個別指導部門におきましては、教材の充実と映像授業の導入によって品質の向上を図り、競合との差別化をさらに鮮明にしております。この第1四半期の生徒数は直営で6.9%、F C教室は前期開校教室の本格稼働によって21.3%の増加を挙げております。

予備校部門におきましても、少子化と大学入試競争の緩和を受けて競合が苦戦している中であって、「現役合格保証」と時代を捉えた新しい商品開発が功を奏して安定的な業績を維持しております。

メディア教育を担う映像授業部門におきましては、集客力の上昇傾向が続き、6月開校の南浦和校もスタート時から予想を上回る受講者数を獲得しました。安定的な会員を維持しているeラーニング部門とともに、時代の先端を走る教育事業としての評価を高めております。

大学生の就職活動を支援する「城南就活塾」も前連結会計年度の高い内定実績から問い合わせ件数が増え、遠隔地からの利用に応えるWEBスクールの充実とあいまって浸透度を高めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,197百万円、営業損失が203百万円、経常損失が194百万円、四半期純損失が208百万円となりました。

なお、当社グループは教育関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間の総資産につきましては、5,441百万円となり、その内訳は現金及び預金等の流動資産が1,713百万円、土地等の有形固定資産が1,688百万円、のれん等の無形固定資産が274百万円、敷金及び保証金等の投資その他の資産が1,765百万円となっております。

(負債の部)

負債につきましては、1,638百万円となり、その内訳は、前受金等の流動負債が1,020百万円、退職給付に係る負債及び資産除去債務等の固定負債が617百万円となっております。

(純資産の部)

純資産につきましては、3,802百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては第2四半期累計期間、通期ともに、本資料発表日現在において、平成26年5月15日に発表いたしました数値から変更はありません。なお、当社グループの業績には季節変動があり、夏期講習及び途中入学を含む第2四半期以降に売上高・利益とも計上額が偏る傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,140	1,184,618
売掛金	83,263	124,018
有価証券	50,000	50,000
商品	58,242	53,832
繰延税金資産	54,571	54,156
その他	233,330	247,133
貸倒引当金	△462	△693
流動資産合計	1,948,085	1,713,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	782,456	799,418
土地	834,674	834,674
その他(純額)	56,699	54,247
有形固定資産合計	1,673,830	1,688,340
無形固定資産		
のれん	160,772	156,043
その他	112,180	118,145
無形固定資産合計	272,952	274,189
投資その他の資産		
投資有価証券	281,530	292,450
敷金及び保証金	829,789	825,349
投資不動産(純額)	479,229	478,485
その他	189,164	184,230
貸倒引当金	△15,077	△15,077
投資その他の資産合計	1,764,636	1,765,438
固定資産合計	3,711,419	3,727,968
資産合計	5,659,505	5,441,034
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,338	23,363
未払法人税等	49,445	12,069
前受金	464,736	511,400
賞与引当金	25,060	15,699
校舎再編成損失引当金	5,388	1,611
資産除去債務	5,748	904
その他	417,632	455,725
流動負債合計	998,351	1,020,774
固定負債		
退職給付に係る負債	222,289	230,994
資産除去債務	299,185	309,225
繰延税金負債	33,906	37,863
その他	40,196	39,446
固定負債合計	595,577	617,529
負債合計	1,593,929	1,638,304
純資産の部		

株主資本

資本金	655,734	655,734
資本剰余金	652,395	652,395
利益剰余金	3,913,665	3,640,723
自己株式	△309,420	△309,420
株主資本合計	4,912,374	4,639,432
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	42,475	49,728
土地再評価差額金	△902,493	△902,493
その他の包括利益累計額合計	△860,017	△852,765
少数株主持分	13,219	16,062
純資産合計	4,065,576	3,802,729
負債純資産合計	5,659,505	5,441,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
売上高	1,197,537
売上原価	1,037,228
売上総利益	160,309
販売費及び一般管理費	364,127
営業損失(△)	△203,817
営業外収益	
受取利息	499
受取配当金	3,726
受取賃貸料	10,084
その他	2,435
営業外収益合計	16,745
営業外費用	
支払利息	28
不動産賃貸原価	6,987
その他	491
営業外費用合計	7,508
経常損失(△)	△194,580
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,580
法人税、住民税及び事業税	10,677
法人税等調整額	415
法人税等合計	11,092
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△205,673
少数株主利益	2,842
四半期純損失(△)	△208,516

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△205,673
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	7,252
その他の包括利益合計	7,252
四半期包括利益	△198,420
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,263
少数株主に係る四半期包括利益	2,842

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

部門別	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
	金額
予備校部門(現役高校生)	482,493
予備校部門(高校卒業生)	138,393
個別指導部門(直営)	275,367
個別指導部門(FC)	62,214
映像授業部門	106,272
デジタル教材・乳幼児教育部門	122,814
その他	9,980
合計	1,197,537

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。